

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009.12.14

1, 2年生用

## 2年生進路面談始まる



2年生の就職希望者全員を対象に進路係の藤森との面談を先週より始めました。来年度も就職戦線は厳しさが予想されますので、進路の係としても皆さんがどのようなことを考えているのかあらかじめ知りたいと同時に、皆さんも少しずつ進路について具体化して欲しいと思い、このようなことを始めました。

一週間行ってみて、当然のことながらまだほとんどの人が漠然としか考えていないようです。それはやむを得ないと思いますが、これを機会に少しずつ進路について考えて欲しいものです。3年になると同時に、ある程度具体的に詰めて行かなくてはなりません。この一週間の感想を少し述べておきましょう。

まず第一に、予定されていた日を忘れてすっぱかしたものが二名、都合で欠席したものが三名いました。都合の悪い場合は仕方ありませんが、一面では皆さんがあまり真剣に捉えていない現れなのかといささか心配になりました。

二番目として、とりあえず先週面接した生徒はサービス業を希望している人達でしたが、この地域ではサービス業からの求人は極めて少なく、自分の希望する職種に就くことは極めて難しいです。今年もパチンコ、ホテル、理容、老人ホーム、バスガイド等の求人があった程度です。サービス業希望者がかなりいますが製造業へ変更するか県外で職を探さない限り希望の実現性は極めて低いでしょう。

三番目として遅刻、欠席の多い生徒、基礎学力・覇気の無い生徒の就職は極めて厳しくなります。こうした生徒はどうするのかしっかり考えて欲しいものです。希望すれば全員が就職できる時代ではなくなっています。まだ今年の三年生で就職が決まっていないものは14名います。

具体的なことはまだ詰めようがありませんが、せめて就職希望地は地元か県内か、県外か。どの様な職種を希望するか。この地域では製造業がほとんどですがそれでもよいのか等、少しずつ具体化して行ってください。同時に基礎学力をつけ欠席を少なくするよう心がけましょう。

## 安易な進学を考えない



最近、進学は難関校と入りやすい学校に二極分化していますが、入りやすい学校でも全員が合格できるわけではありません。まして地元の私立大学(含む短大)でも、ある程度の基準に達していないと合格できません。今年の3年生も何人かが不合格となってしまいました。また地元の伊那技術専門校も、今年は数名が不合格となりました。

また専門学校へ進学するつもりで受験し合格したのですが、経済的理由で辞退したり、進む分野が特殊であったため、周りの説得があったのか12月に入り急遽就職に切り替えた生徒がいます。特に専門学校の場合はかなり入りやすくなっていますが、あまりにも特殊な分野を希望しても卒業時に就職しようとしても職が見つからない可能性があります。進学にはお金がかかります。経済的問題も含めて親ともよく相談して進学を検討しましょう。

また指定校推薦等入りやすい学校だけをねらうのではなく、多少力のある生徒は少しチャレンジ精神を持つことも必要のように思います。ただし親の世代で入りやすかった私立大学でも、今ではかなり難しくなっている場合もありますのでしっかり情報収集して判断しましょう。